

和泉市デジタルアーカイブに市制施行直後の広報紙等を追加搭載

～市制70周年を記念して広報紙や地籍図の画像をウェブ公開～

和泉市教育委員会は特定歴史公文書として保管する、和泉市発足直後に刊行された広報紙や明治時代の地籍図等を撮影し、その高精細画像を令和 8 年 8 月 30 日の市制施行70周年記念式典の当日にあわせて、和泉市デジタルアーカイブに公開しました。

■主な資料

和泉市教育委員会は令和 8 年 4 月 1 日から「和泉市デジタルアーカイブ」(<https://adeac.jp/izumi-city/top/>)を公開し、特定歴史公文書と地域資料の区分を横断して、地積図・村絵図、浮世絵、刀剣類、土器などの考古資料、市域の古墳や集落遺跡の発掘風景など、様々な資料の画像を公開しています。

市制施行70周年を記念して、新たに市制発足直後の昭和 31(1956)年から昭和 37(1962)年までの広報紙 62 点(186 カット)と旧町村役場から市に引き継がれた地籍図等 46 点(46 カット)の高精細画像を、令和8年8月30日付で「和泉市デジタルアーカイブ」に追加搭載し、公開しました。これらの画像はいずれも、非営利目的で自由にダウンロードし、活用することができます。

広報紙からは、簡易水道の敷設(昭和 32 年・市政だより7号)、市営住宅の建設(昭和 32 年・市政だより 11 号)、庁舎の竣工(昭和 33 年・市政だより 23 号)など、インフラや公共施設の変遷が分かるほか、「新生活運動のしおり 先ず結婚式の改善から」(広報いずみ5号)、「働きながら学ぶ 青年学級七月一日から開設」(昭和 32 年・市政だより 8 号)など、当時の世相や社会のあり方を示す記述もみられます。

地籍図等は、明治初年の地租改正を機にそれぞれの大字で作成されたのち、旧町村役場で保管され、昭和 31 年の和泉市制発足に伴って和泉市役所へ移管されたものです。その多くには土地一筆ごとの地番が記載されており、田・畑・川・山・宅地など当時の土地利用が色鮮やかに描かれています。今回の公開分は、和泉市内約 30 地点を描いたものです。

なお、今回の資料の撮影と高精細画像の生成・搭載にあたっては、公益財団法人図書館振興財団による 2025 年度提案型助成を活用しました。

●担当者のコメント

現在に続く市の広報紙は、行政活動と市民生活の展開をわかりやすく示す貴重な資料です。今回公開した昭和 30 年代の広報紙は、高度成長期に向かう当時の日本社会を活写した記録としても、全国的に注目されるべき内容を持ちます。また、旧町村役場時代の地籍図等は、市民の身近な生活空間を描いており、地域への関心と呼び起こすような魅力にあふれています。市民共有の財産として、多くの方にご覧いただきたいと思います。

*写真 別添のとおり。